

事業概要説明シート

事務事業番号

10401280001

事務事業名	敬老事業																																																																							
事業開始年度	1968(S43)年度				担当部署	福祉部 高齢社会室																																																																		
根拠法令	「平成24年度敬老のつどい及び高齢者保健福祉月間における事業及び関連事業の実施について」(決裁)																																																																							
実施方法	☒ 直営 ☐ 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) ☐ その他()																																																																							
目的 (何のために)	①多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに感謝の意を表す②高齢者自ら、生活の向上に努める意欲を高める③市民が、広く高齢者福祉に関心と理解を深める																																																																							
対象 (誰・何を対象に)	市民																																																																							
事業内容	①敬老のつどい…平成24年9月7日(金)市民会館大ホール 《第1部》式典 《第2部》バラエティショー ②優良老人クラブ・優良ひとり暮らし老人会表彰…老人クラブから4クラブ、一人暮らし老人会から1グループ ③最高齢者、100歳高齢者祝福訪問 (最高齢者)…市内在住の最高齢者(男女)を市長が訪問し、花束と記念品を贈呈 (100歳高齢者)…今年度中に満100歳を迎える方に祝状と記念品を贈呈(国からも祝状等有り) ④長寿記念品配布…今年に満88歳(米寿)を迎えられる方に記念品を贈る ⑤高齢者保健福祉月間啓発標語の募集…広報紙等による募集。特選1作品、入選2作品 ⑥小学生の「敬老の日」にちなんだ作文募集…市立小学校5,6年生が対象。入選2作品 ※敬老のつどいでは高齢社会憲章朗読、上記②⑤⑥の表彰、発表等を行う(第1部)。																																																																							
類似事業	100歳高齢者祝福訪問については、国事業として内閣総理大臣からの祝状と記念品(銀杯)が贈られる。																																																																							
事業の必要性	今日の社会を築き、その進展に寄与してきた高齢者を敬愛し、その長寿を祝福するための取り組みとして必要である。																																																																							
コスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">H23年度決算</th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人件費計(A)</td> <td>正職員</td> <td>0.54 人</td> <td>4,369 千円</td> <td>0.48 人</td> <td>3,840 千円</td> <td>0.48 人</td> <td>3,795 千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td>0.00 人</td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>0 千円</td> <td></td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td>0.05 人</td> <td>89 千円</td> <td>0.05 人</td> <td>127 千円</td> <td>0.05 人</td> <td>127 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(A)</td> <td></td> <td>4,458 千円</td> <td></td> <td>3,967 千円</td> <td></td> <td>3,922 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">直接経費(B)</td> <td></td> <td>3,351 千円</td> <td></td> <td>3,311 千円</td> <td></td> <td>4,513 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>7,809 千円</td> <td></td> <td>7,278 千円</td> <td></td> <td>8,435 千円</td> </tr> </tbody> </table>												H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算				従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	人件費計(A)	正職員	0.54 人	4,369 千円	0.48 人	3,840 千円	0.48 人	3,795 千円	再任用職員	0.00 人	0 千円		0 千円		0 千円	非常勤職員等	0.05 人	89 千円	0.05 人	127 千円	0.05 人	127 千円	人件費計(A)			4,458 千円		3,967 千円		3,922 千円	直接経費(B)			3,351 千円		3,311 千円		4,513 千円	総事業費(A+B)			7,809 千円		7,278 千円		8,435 千円
		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算																																																																		
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																																	
人件費計(A)	正職員	0.54 人	4,369 千円	0.48 人	3,840 千円	0.48 人	3,795 千円																																																																	
	再任用職員	0.00 人	0 千円		0 千円		0 千円																																																																	
	非常勤職員等	0.05 人	89 千円	0.05 人	127 千円	0.05 人	127 千円																																																																	
人件費計(A)			4,458 千円		3,967 千円		3,922 千円																																																																	
直接経費(B)			3,351 千円		3,311 千円		4,513 千円																																																																	
総事業費(A+B)			7,809 千円		7,278 千円		8,435 千円																																																																	
財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度決算</th> <th>H24年度決算</th> <th>H25年度当初予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担 (使用料等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,809 千円</td> <td>7,278 千円</td> <td>8,435 千円</td> </tr> </tbody> </table>											H23年度決算	H24年度決算	H25年度当初予算	国庫支出金				府支出金				受益者負担 (使用料等)				その他				一般財源	7,809 千円	7,278 千円	8,435 千円																																						
	H23年度決算	H24年度決算	H25年度当初予算																																																																					
国庫支出金																																																																								
府支出金																																																																								
受益者負担 (使用料等)																																																																								
その他																																																																								
一般財源	7,809 千円	7,278 千円	8,435 千円																																																																					
平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容						金 額																																																																	
	敬老事業経費…消耗品等需用費 509、通信運搬費 55、報償費 181、委託料 1,534						2,279 千円																																																																	
	敬老記念品配付事業経費…消耗品費 1,015、印刷製本費 17						1,032 千円																																																																	
							千円																																																																	

事業概要説明シート

事務事業番号 10401280001

事務事業名	敬老事業				
事業開始年度	1968(S43)年度		担当部署	福祉部 高齢社会室	
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
	① つどい参加者	人	約1,000	約1,250	約1,250
	② 作文応募者	人	1,411	1,036	1,200
	③ 標語応募者	人	19	15	20
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費／つどい参加者数	円	7,809	5,822	6,784
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	多くの高齢者、市民が「敬老のつどい」に参加し、広く、高齢者福祉に関心と理解を深めていただく。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	○敬老行事 … 【本市】H24決算額 1,988千円(敬老のつどい) 【他市】手法や運営主体は様々であるが、ほとんどの市町村で取り組まれている。 (例) <u>豊中市</u>《H22決算額16,073千円》 …市内各地域(40地区)で社会福祉協議会が実施。市は社会福祉協議会へ補助を行う。 <u>吹田市</u>《H22決算額32,833千円》 …各地区民生委員・児童委員協議会を中心とした各地区敬老事業運営委員会が実施。 市は実績に応じて補助金を交付する。 ○記念品配付 … 【本市】(H24決算額) (1)最高齢者・100歳高齢者祝福訪問 291千円 … 最高齢者(花束、記念品「置時計」)、100歳高齢者(祝状、記念品「肩あて」) (2) 米寿記念品配付 1,032千円 記念品「飯碗」 【他市】下記のとおり (例) <u>茨木市</u>《H22決算額18,920千円》 …100歳到達者及び最高齢者を訪問し品(4000円程度)を渡す。 祝金として、88歳に20,000円、99歳に30,000円、100歳以上に50,000円を渡す。 <u>池田市</u>《H22決算額 9,619千円》 …88歳(20,000円)、100歳(100,000円)、101歳以上(10,000円)を贈呈。 100歳のうち1名を市長が訪問。 80歳、90歳、99歳を迎える市民に祝品(2,100円相当)(80歳はH23年度から廃止)				
特記事項	○敬老式典関係 …案内状・招待状等印刷については、外注から庁内での印刷へと変更、また、関係者への案内状等の送付については各関係団体の協力を得て出来る限りはがきを使用しないようにして経費節減に努めた。 参加記念品については、平成23年度から廃止した。 ○敬老のつどいアンケート結果(平成24年度実施分)《抜粋》 回答者数237人 満足度…満足:218(92%)、不満:3(1%)、どちらとも言えない:11(5%)、未記入:5(2%) 必要度…必要:221(93%)、不要:5(2%)、どちらとも言えない: 7(3%)、未記入:4(2%) ○敬老記念品配付関係 …敬老金廃止に伴い実施(平成6年度～)。当初は配付の対象を「古希」「喜寿」「米寿」「白寿」としていたが、現在は「米寿」のみ。 ※100歳到達高齢者及び市内最高齢者(男女各1名)への祝品贈呈は、「敬老事業」として実施				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成24年度)	改善	老人福祉法(第5条)、国民の祝日に関する法律(第2条)の趣旨に則り、高齢者保健福祉月間に実施する行事として取り組む必要があると考えている。 平成24年度は参加者へのアンケートを実施し、満足度やニーズ及び嗜好性などを把握することに努めることとした。また、さらなる委託化による従事職員の削減を目指すなど、より効率的な事業取り組みについて検討していく。			
二次評価結果 (平成24年度)	・高齢社会にあつて、事業そのもののありかたについて今後を見据えた検討が必要。 ・今後、さらなる高齢化をむかえると共に、元気なシニアが多い現状を考えると、当事業の内容(例えば、長寿を祝う年齢の引き上げや記念品の内容の見直し)や事業費の検討は不可欠と思われる。他市とのコストの比較・分析、サービス水準の把握、効果の検証・評価などを全く行っていない状況において、当事業自体の検討の必要あり。ヒアリングを踏まえて、今回初めてのアンケート実施の結果などにも疑問が残る。事業自体の見直しは必至ではないか。				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	【敬老のつどい・表彰等】平成25年度は実施済。今後については、アンケート等によりニーズの把握を行うとともに、より事業目的に沿った取り組みとなるよう検討する。 【高齢者祝福訪問】平成24年度より4月～8月にも実施し、100歳を迎えられる高齢者それぞれの誕生月に訪問することとしており、今後も継続予定である。 【(米寿)記念品配布事業】平成17年度から現行の形(米寿のみ)となっている。平成25年度はこれまでと同様の取り組みとしたが、今後は、記念品の内容や取組手法について検討を行う。 【啓発標語】平成25年度は市HPを活用するという、新たな手法を取り入れた。今後も、より効果的な取組となるよう手法等について工夫を行っていく。 【「敬老の日」作文】より多くの小学生が関心を持ち、応募者数が増えるよう周知方法等について工夫・検討する。			